

委員会視察成果報告書

1/3

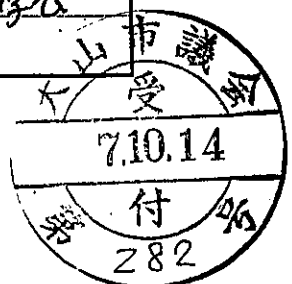
2025年10月14日

犬山市議会議長

議員名 岡 寛

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 視察年月日	2025年 10月 7日(火) ~ 2025年 10月 8日(水) (泊 2日)
(2) 視 察 地	武蔵野市, 掛川市
(3) 視察の種類	常任・特別委員会 (総務委員会)
(4) 視 察 成 果 (視察地ごとに記入)	武蔵野市(人口:148,285人, 10.98 Km²) ①地域公共交通について 市内には鉄道駅が3駅あり, JR・2線, 私鉄2線, 地下鉄1線とバス事業者3社が運行されていて, これに「ムーバス(7路線9ルート)」を運行することにより, 交通空白・不便地域をほぼ全域で解消。加えて福祉交通(要介護者, 障害者の外出支援)として, 移送サービス「レモンキャブ」や「リフトタクシー」も実施。 ムーブスの利用料金はずっと100円の低価格で運行。運行経費(R6は^概8,500万円)から運賃収入(R6は^概2億6,500万円)を差し引いた差額は市負担。運賃収入/運行経費 = 68.8%。土日祝祭日も同じ運行。 福祉有償輸送(レモンキャブ)の利用は, 年会費1,000円, 利用料は1,000円/30分。利用会員は865人。 運転手不足を事業者側の課題とせず, 共通の課題としている。
(5) 犬山市に 対する提言	(1) 地域公共交通推進によるクロスセクター効果について認識を深める。 (2) 行政が財政支出も行いながら, まず運転手不足の解消・便数の回復・増便を果して, 市民に便利さや, 帰りも使えるお値打ち感を実感してもらう。 (3) 一時的な投資を行いながら, 次に受益負担率の向上をはかる。 (4) その為にも利用者・市民の声をよく聞き, 先進地の工夫に学び, 知恵を出す。



委員会視察成果報告書

2/3

年 月 日

犬山市議会議長

議員名

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 視察年月日	年 月 日() ~ 年 月 日() (泊 日)
(2) 視 察 地	
(3) 視察の種類	常任・特別 委員会 (委員会)
(4) 視 察 成 果 (視察地ごとに記入)	武蔵野市 消防施設見学 10年前に建て替え 都内ではトップクラスで敷地が広く恵まれている。 出勤もスムーズにできそうだ。 訓練施設も充実している。 出勤する職員の各施設は地下に設置している が、3Fや4Fより出勤しやすいと思っている。 团は市、消防は都である
(5) 犬山市に 対する提言	地下の利用に関しては、排水面などの安全性 をまず考えた上で、選択肢の一つにすべき。 (私は、あまりすすめない)

1/3
に
同
じ

委員会視察成果報告書

3/3

年 月 日

犬山市議会議長

議員名

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

1/3
に
同
じ

(1) 視察年月日	年 月 日() ~ 年 月 日() (泊 日)
(2) 視 察 地	
(3) 視察の種類	常任・特別 委員会 (委員会)
(4) 視 察 成 果 (視察地ごとに記入)	掛川市 (人口: 114,477人・9A、面積: 265.69 km²) テーマ: 働き方改革2.0について 改革の3つの柱 ①働きがい: やる気やチャレンジに促える ②働く環境: ワークライフバランスを実現する ③コミュニケーション: Well-beingを支える 従来の半分の職員でも自治体機能を維持する仕組みづくり エンゲージメントに注目し、定義し、高めることをめざす 職員アンケートを実施し、分析し、ミーティングを実施 設内は40。これに基づき、R7年度は①②③の目標設定
(5) 犬山市に 対する提言	住民サービスの向上をめざしつつ、長時間労働の削減、職員の健康保持とワークライフバランスの向上を はかることが重要。 しかし、犬山市では有給休暇の取得が減少 残業時間は4~6A(R7)で前年度対比微増である 現実を直視して、この課題に取り組むことが重要。